

【レジメン名】
ペムブロリズマブ療法

【適応疾患】
非小細胞肺癌 ☒ 進行・再発 ☐ 術前補助 ☐ 術後補助

【インターバル日数】
1 コース 21 日

一般名/ 略号	投与法	投与時間	投与日
ペムブロリズマブ/Pembrolizumab 200mg/body	点滴静注	30 分	day1

薬品名	投与量	目的	手技	点滴時間	d1	d2	d3	...	d21	d1
生理食塩液	50mL	ルート確保	点滴静注	15 分	↓					↓
生理食塩液 テセントリク	100mL 200mg/body	抗癌剤	点滴静注	30 分	↓					↓
生理食塩液	50mL	ルートフラッシュ	点滴静注	15 分	↓					↓

【副作用】

《主な副作用》

● 重大な副作用

間質性肺疾患(3.1%)、大腸炎(1.7%)、重度の下痢(1.3%)、皮膚粘膜眼症候群(0.1%)、類天疱瘡(0.2%)、末梢性ニューロパチー(0.7%)、ギラン・バレー症候群(0.1%)、肝機能障害(8.3%)、肝炎(0.7%)、甲状腺機能低下症(8.0%)、甲状腺機能亢進症(4.0%)、甲状腺炎(0.7%)、下垂体炎(0.4%)、下垂体機能低下症(0.3%)、副腎機能不全(0.4%)、1 型糖尿病(0.3%)、腎不全(0.4%)、尿細管間質性腎炎(0.2%)、膵炎(0.3%)、筋炎(0.2%)、横紋筋融解症(頻度不明)、重症筋無力症(0.1%)、脳炎(0.1%)、髄膜炎(0.1%)、Infusion reaction(1.6%)

● 注意を要する副作用

副作用	全Grade (%)	Grade 3以上 (%)
間質性肺疾患	61 (3.4)	26 (1.5)
大腸炎・重度の下痢	61 (3.4)	51 (2.8)
重度の皮膚障害 (皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑、類天疱瘡等)	6 (0.3)	3 (0.2)
神経障害 (ギラン・バレー症候群等)	33 (1.8)	1 (0.1)
肝機能障害	295 (16.5)	84 (4.7)
内分泌障害 (甲状腺機能障害)	222 (12.4)	1 (0.1)
内分泌障害 (下垂体機能障害)	14 (0.8)	9 (0.5)
内分泌障害 (副腎機能障害)	12 (0.7)	6 (0.3)
1 型糖尿病	6 (0.3)	6 (0.3)
腎機能障害 (尿細管間質性腎炎等)	39 (2.2)	15 (0.8)
膵炎	9 (0.5)	6 (0.3)
筋炎・横紋筋融解症	9 (0.5)	0
重症筋無力症	1 (0.1)	1 (0.1)
脳炎・髄膜炎	3 (0.2)	3 (0.2)
Infusion reaction	47 (2.6)	5 (0.3)
ぶどう膜炎	9 (0.5)	1 (0.1)

副作用	発現例数 (%)	発現時期中央値 (日)	範囲 (日)
間質性肺疾患	61 (3.4)	92	6-419
大腸炎・重度の下痢	61 (3.4)	125	5-494
重度の皮膚障害 (皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑、類天疱瘡等)	6 (0.3)	132	4-360
神経障害 (ギラン・バレー症候群等)	33 (1.8)	54	2-437
肝機能障害	295 (16.5)	44	1-554
内分泌障害 (甲状腺機能障害)	222 (12.4)	66.5	1-484
内分泌障害 (下垂体機能障害)	14 (0.8)	139.5	1-363
内分泌障害 (副腎機能障害)	12 (0.7)	173.5	64-398
1 型糖尿病	6 (0.3)	94.5	31-160
腎機能障害 (尿細管間質性腎炎等)	39 (2.2)	85	3-409
膵炎	9 (0.5)	116	8-338
筋炎・横紋筋融解症	9 (0.5)	130	4-360
重症筋無力症	1 (0.1)	74	
脳炎・髄膜炎	3 (0.2)	102	97-177
Infusion reaction	47 (2.6)	36	1-331
ぶどう膜炎	9 (0.5)	63	13-400